

II 総合戦略（長岡リジュベネーション）について（案）

1 総合戦略策定にあたって特に大切にしたい考え方

～志を未来に活かす、ながおか～

長岡市は、将来の人口減、活力減が見込まれる今日の社会状況において、その将来を実際に担っていく「若者」を地方創生の主役に据え、長期的な視点に立った戦略を立案します。

「若者」が、持っているさまざまな個性と力を生かし、伸ばし、いきいきと活躍するためには、その「志」を大切にし、長岡人の心に息づく「米百俵」の精神で、10年20年先の未来を担う次の世代に投資する政策が求められます。

このため、次の3つの考えを特に大切にします。

- 若者自身が参加、企画、実現し、魅力を生み出すまちづくり
- 未来の長岡を担う子どもたちを育てる質の高い教育環境づくり
- 長岡で頑張っている産業の事業展開を応援するとともに、新たな起業や産業の誘致を促進することによる「働く場」の確保

こうした考え方により、長岡に住み続ける「若者」、戻ってくる「若者」、新たに移住してくる「若者」を、しっかりと確保し、人口減少を抑制し、愛着と誇りの持てる「ふるさと長岡」をつくっていくことを目指します。

長岡市は、将来に渡って元気で若々しいまちであり続けるためにすべきことを「長岡版総合戦略ー長岡リジュベネーション※（長岡若返り戦略）」として取りまとめ、経験豊かな世代も含め、若者など全市民協働で積極的、戦略的に進めていきます。

※リジュベネーション（rejuvenation）…若返らせる、元気回復

2 7つの戦略

戦略1

若者の地元定着やU・Iターンを促進するため、若者自らが魅力を生み出すまちづくりをすすめます。

戦略2

子育て環境を整備し、長岡で子どもを産み育てたいと思う人を増やすとともに、出生率をあげ、人口減少に歯止めをかけます。

戦略3

米百俵の精神で、質の高い教育と教育環境の整備を進め、長岡に住み続けたい人、長岡に帰ってきたい人、長岡を背負って立ちたい人を育てます。

戦略4

雇用の維持・拡大を図るため産官学金の総合力で産業活性化を推進します。特に、頑張っている地元企業・地場産業を重点的に支援します。

戦略5

長岡の歴史、文化、自然、特産品を、市民とともに磨き上げ、広く国内外に情報発信し、「長岡ファン」を増やすことで、ひと・モノ・情報の交流を拡大します。

戦略6

誰もが安全・安心で、いつまでも健やかで元気に暮らし続けられる、住民主体の個性豊かなコミュニティづくりをすることで、住みたい、住み続けたいと思うまちづくりを推進します。

戦略7

近隣・関係市町村や大都市圏、さらには、姉妹都市などの国際的な交流も視野に入れ、広域連携を進めて、交流人口を増やします。

3 長岡版総合戦略(仮称)の構成

戦略	基本施策	施策(案)
<p>【戦略1】 若者の地元定着やU・Iターンを促進するため、若者自らが魅力を生み出すまちづくりをすすめます。</p>	<p>若者がまちづくりに参画できるしかけをつくり、若者自らが主体性をもって、充実感を得ることで、若者の定着を促します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ながおか・若者・しごと機構をつくり、若者のまちづくりの参画、アイデアの実現などをサポートします。(若者会議など) ・市内の学生が空き家や廃校を改装して、アトリエやシェアハウス※に活用します。 ・若者がSNSを使い、地域のまちづくりやイベント等をレポートし、地域を盛り上げます。
	<p>今いる若者に対し、より住みやすくなる情報の提供や地元就職のサポートなどを行うことで、若者の転出を抑制します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡を暮らしやすいと思う様な情報(就職、子育て環境、教育環境、住環境)の発信を展開します。 ・3大学1高専15専門学校などの学生に対し、ながおか・若者・しごと機構を通じて、産官学金が連携して、地元就職をサポートします。(情報提供やインターンシップ事業など) ・「地域の宝」を子どもたちに伝承し、地域を好きになってもらうことで、地域への「誇り」と「自信」を醸成します。
	<p>出て行った若者に対し、安心して戻って来られるような情報提供、相談のサポートを行うことで、地元に戻ってくる人を増やします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・Uターンしたいと思う様な情報(就職、子育て環境、教育環境、住環境)の発信を展開します。 ・Uターンしたい若者を、徹底的にサポートします。 ・女性がいきいきと働き、暮らせる環境作りを進め、女性のUターンを促進します。 ・ながおか・若者・しごと機構をつくり、地元企業と学生をつなぐインターンシップ※事業を強化します。
	<p>市外に住む若者に対し、長岡で学びたい・働きたい・住みたいと思ってもらえるような情報を発信することで、若者の転入を促進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ながおか・若者・しごと機構を通じて、大学・専門学校、行政などが連携して、長岡で学生時代を過ごしたいと思うような情報の発信を展開し、学生を呼び込みます。 ・ながおか・若者・しごと機構を通じて、産官学金が連携して働きたい・住みたいと思うような情報(就職、子育て環境、教育環境、住環境)の発信を展開します。 ・ながおか・若者・しごと機構をつくり、地元企業と学生をつなぐインターンシップ事業を強化します。【再掲】 ・都会的な生活を送りながら、農村の良さを実感出来る仕組みをつくります。(駅前に住み山古志等への通い農業) ・若者の力を集落・地域活動に活用する地域おこし協力隊を導入します。
	<p>若者が行きたくなる施設の整備やイベントの開催により、より多くの人が集う出会いの場づくりをすすめます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ながおか・若者・しごと機構を通じて、若者の居場所作りを進めます。 ・市内外の若者が、日常生活や買い物、イベントなどを楽しめる魅力あるまちなか整備を進めます。 ・学生交流会をはじめ、若者や学生による交流イベント・出会いの機会の創出を支援します。 ・四季を通じて、若者が気軽に楽しめるレクリエーション施設等を整備します。 ・野外ライブ、アウトドア、スポーツなど若者に人気のあるイベントの開催を支援します。 ・新潟アルビレックスBBと市民協働によるまちづくりを進めます。

※シェアハウス…複数人で1戸建て住居を借り、台所や風呂・トイレなどを共同で利用する形態の借り方

※SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) …登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービスのこと

※インターンシップ…学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと

戦略	基本施策	施策(案)
【戦略2】 子育て環境を整備し、長岡で子どもを産み育てたいと思う人を増やすとともに、出生率をあげ、人口減少に歯止めをかけます。	一人ひとりの子どもや保護者に丁寧に寄り添い、ニーズに合った支援を的確に行うことで、長岡で安心して子どもを産み育てようとする人を増やします。	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡オリジナル“保育士のいる屋根付き公園”「子育ての駅」などで子育てを積極的に支援します。 ・安心して出産、子育てができるよう妊娠期から育児まで切れ目のない支援(長岡版「ネウボラ※」)を展開します。 ・「すこやかファイル」などで幼児期から義務教育終了まで発達が気になる子、配慮を要する子について継続した教育、支援を行います。 ・子育て応援券の発行などで子育てに関する保護者の経済的負担の軽減を図ります。
	仕事と子育ての両面から、職場や地域などで保護者をサポートし、市民みんなで子育てをする環境を整えることで、長岡で子育てしたいと思う人を増やします。	<ul style="list-style-type: none"> ・働く企業での事業所内保育や地域主体の放課後児童クラブなど企業・地域・多世代が子育てに関わって市民みんなで子育てをする家庭を支援します。 ・認定こども園の推進や保育園の施設設備の改修などで、快適な保育環境の整備を進めます。 ・ワーク・ライフ・バランスを実現するため、働きやすい職場づくりに取り組む企業を支援します。 ・子育て奮闘中の若者を対象に、安価な賃貸住宅を提供することで、生活環境を支援します。 ・子どもが楽しく歩き、長岡の子育てに幸せを感じる人に優しい道づくりをすすめます。
	幼少期から食育や運動の基本を身に付ける取り組みを進め、子育ての一環として親子両世代の健康づくりを支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の親子食育講座などで、タニタ監修の学校給食の提供により、子どもと保護者の食育への関心を高め、早期の子育て段階から健康な食生活の基礎づくりを進めます。 ・食生活改善推進委員にタニタの健康食のノウハウ等を導入し、食生活アドバイザーとして子育て期の食育相談等を行うことで、子育て世帯を応援します。

※長岡版ネウボラ…保健師や助産師など専門職員が、妊娠期から就学前にかけて切れ目なく家族を支援する。市独自の子育ての駅や、子育てコンシェルジュ、子育てサポーター等と連携し取り組む

※ワーク・ライフ・バランス…「仕事と生活の調和」と訳され、一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会のこと

戦略	基本施策	施策(案)
【戦略3】 米百俵の精神で、質の高い教育と教育環境の整備を進め、長岡に住み続けたい人、長岡に帰ってきたい人、長岡を背負って立ちたい人を育てます。	長岡への愛着と誇りを持つことで、長岡に住んで背負って立つ人を育てます。	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡への愛着と誇りを持たせるため、地域力・市民力を生かしたオール長岡でふるさと教育や伝統芸能、まつりなどの伝承に取り組めます。 ・子どもの可能性を引き出し、リーダーシップや起業家精神に富んだ子どもを育てます。 ・熱中、感動、本物体験の場の提供を充実し、子どものやる気や学ぶ意欲を高め、地域や自然を愛する心を育みます。 ・人口減に歯止めをかけ、豊かな社会を築いていくため、家族や家庭の意義を学ばせる教育を進めます。
	魅力ある行き届いた教育と環境づくりを進め、教育のまちとしての価値を高めることで、U・Iターンを含め、長岡の教育を受けたい、受けさせたいと思う人を増やします。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもサポート体制の充実により、いじめや不登校、特別支援教育などに適切に対応し、落ち着いて学べる教育環境をつくります。 ・どの子にも分かる授業を実現し、読み書き計算、基礎・基本をしっかりと身に付けさせます。 ・経済的理由により就学困難とならないように、教育への経済的負担を軽減するための支援を充実します。 ・幼保小中の連携を円滑にした切れ目のない子育て支援と教育を行います。 ・校舎の大規模改修や教材の充実など、教育環境の整備を進めます。
	キラリと光る人材や世界に通用する人材を育て、米百俵のまちを発信することで、長岡を応援する人を増やします。	<ul style="list-style-type: none"> ・世界や全国で活躍できるスポーツ選手等を育成します。 ・小学生段階から英語教育や国際理解教育を充実し、世界で活躍できる国際人を育みます。 ・熱中、感動、本物体験の場の提供を充実し、子どもの個性や能力を伸ばします。 ・教育による人づくりの大切さを表わす、「米百俵の精神」の普及・啓発を進めます。 ・「米百俵の精神」を全国に発信する情報拠点(図書館等)を中心市街地に整備し、その普及・啓発を図ります。

戦略	基本施策	施策(案)
<p>【戦略4】 雇用の維持・拡大を図るため産官学金の総合力で産業活性化を推進します。特に、頑張っている地元企業・地場産業を重点的に支援します。</p>	<p>地元企業・地場産業の成長・発展を産官学金の総がかりで支援し、就業機会を増やすとともに魅力ある職場づくりを促進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産官学金の連携により新技術・新製品の開発や新分野進出など地元事業者のやる気と頑張りを支援します。 ・長岡ブランドの競争力強化と情報発信を進め、経営基盤の確立とともに新たな市場開拓や販路拡大を支援します。 ・生産性の向上、6次産業化の推進や効率的な流通体制づくりを支援し、がんばる担い手や意欲ある若者が魅力を感じて農林水産業を続けられる環境整備を進めます。 ・長岡が世界に誇る農産物、製品、ノウハウを持った地場産業の海外展開を支援します。 ・ながおか・若者・しごと機構を通じたインターンシップなどにより地場産業や伝統産業の魅力をPRしその承継・発展を支援します。 ・ワーク・ライフ・バランスなどを充実させ、働きやすい職場環境づくりを促進し地元企業・地場産業の人材確保を支援します。 ・中小企業・小規模企業等の経営基盤強化や事業継続など持続的な経営を支援します。
	<p>企業立地を進めることで、雇用拡大と地元企業の活性化を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3大学1高専の立地や多様な産業集積という長岡ならではの強み・魅力をPRして企業誘致を推進します。 ・地元企業の事業拡大等に伴う移転や誘致企業の進出ニーズに対応するため産業団地の整備を進めます。 ・地元企業や誘致企業のニーズに応えるため分譲地メニューの多様化を進めます。
	<p>若者などの起業・創業を支援することで、新たな雇用の創出と新産業の育成を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・若者などの起業・創業へのチャレンジを産官学金が連携して応援します。 ・日本一起業・創業しやすいまちを目指し支援体制・支援メニューの充実を図ります。 ・産官学金が連携したながおか・若者・しごと機構などの総合的な支援体制の強みを情報発信し起業・創業につなげます。
	<p>定住促進と企業の人材確保を図るためU・Iターン事業を進め、次代を担う意欲ある人材を増やします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・U・Iターンしたいと思う様な情報(就職、子育て環境、教育環境、住環境)の発信を展開します。【再掲】 ・女性がいきいきと働き、暮らせる環境作りを進め、女性のU・Iターンを促進します。【再掲】 ・U・Iターンしたい若者を、徹底的にサポートします。【再掲】 ・ながおか・若者・しごと機構をつくり、地元企業と学生をつなぐインターンシップ事業を強化します。【再掲】

戦略	基本施策	施策(案)
<p>【戦略5】 長岡の歴史、文化、自然、特産品を、市民とともに磨き上げ、広く国内外に情報発信し、「長岡ファン」を増やすことで、ひと・モノ・情報の交流を拡大します。</p>	<p>長岡花火や地域の宝を、市民と一緒に磨き上げるとともに、広く国内外に情報発信し、長岡を訪れる人を増やします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客の受入れ環境を整備し、外国人の誘客を推進します。 ・花火、錦鯉、良寛、地酒、食、歴史、技などの長岡の魅力を全国に発信し、全国から長岡への誘客を推進します。 ・地域の特産品やイベントをPRするため、市の中心部にアンテナショップ等の設置を検討します。 ・映画、テレビ等のロケ誘致により長岡の魅力を情報発信します。
	<p>長岡の歴史や文化、自然風景などを活かしたグリーンツーリズムを強化し、交流・体験・滞在型などの交流人口を増やします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡産の農畜水産物、地酒、菓子の美味さとともに、培われた物語を伝え、来訪者との交流を深めます。 ・棚田などの自然景観や、摂田屋などの歴史的・文化的な地域の魅力を使って交流人口を増やします。 ・山本五十六や河井継之助といった長岡の先人達に関する情報を発信し、交流人口を増やします。 ・国内友好都市との交流をさらに促進し、教育旅行の受け入れやセカンドスクールを誘致します。 ・関東、北陸、東北を繋ぐ地理的優位性を活かす道路ネットワークを形成します。 ・震災復興ノウハウや防災対策についての行政視察を積極的に受け入れます。 ・2020東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致を行い、交流人口を増やします。 ・寺泊の海や越路のホテルといった「地域の宝」を全市の宝として磨き上げ、これを組み合わせることにより、新たな交流資源に育てます。
	<p>関係市町村と連携して、共通資源の魅力を高めることで、交流人口を増やします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・火焰型土器を共通資源として持つ関係市町村と連携を進め、日本遺産として認定を受けたり、海外博物館等への貸出展示を行ったりすることで、国内外に広くアピールし交流を促進します。 ・牛の角突き、北前船、トキ、良寛など、地域固有の特徴的な資源を持つ関係市町村と連携し、国内外に広くアピールし交流を促進します。
	<p>著名人を含めた「長岡ファン」の方々とのつながりを大切に、国内外から長岡を支えてもらえる人を増やします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・越後長岡応援団による講演会やイベントなどを企画します。 ・真珠湾での長岡花火打ち上げを、国内外に広くアピールし、慰霊と平和、未来への希望の花火としての長岡花火ブランドを確立、世界展開によりファンの更なる獲得を目指します。 ・長岡市独自だけでなく長岡にゆかりのある著名人からも、SNSを積極的に活用し、長岡の情報を発信してもらうことで、長岡市の魅力を広く周知し、長岡ファンを増やします。 ・ふるさと納税やクラウドファンディングなどを活用し、長岡ファンのすそ野を広げます。

※セカンドスクール…学期中に授業の一部を自然に恵まれた場所で長期に滞在して行うもので、普段の学校生活（ファーストスクール）ではなかなか体験しにくい活動や学習を通して、学校教育の目標をより効果的に達成しようとするもの

※クラウドファンディング…インターネットを活用し、ある目的や志などのため、全国あるいは世界中の人から資金を集める手段のこと

戦略	基本施策	施策(案)
<p>【戦略6】 誰もが安全・安心で、いつまでも健やかで元気に暮らし続けられる、住民主体の個性豊かなコミュニティづくりをすることで、住みたい、住み続けたいと思うまちづくりを推進します。</p>	<p>誰もが楽しみながら継続して健康づくりを実践できる環境をつくり、日常生活の中に健康意識を浸透させることで、市民全体の健康度の底上げを図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業のノウハウを導入した健康づくり拠点「タニタカフェ」を中心に健康カウンセリングやミニセミナーを開催するなど、市民の健康意識の醸成を図ります。 ・会員制の「ながおかタニタ健康くらぶ」などを通して、継続的に健康づくりに取り組む市民を増やします。 ・「健康くらぶ」と連動した健康セミナーを各地域で開催し、健康づくりの取り組みを全市域に展開します。 ・健康の基本要素(運動・食・休養)を体験できる情報発信拠点を中心市街地に整備し、各地域の健康拠点と連携することで、健康づくりの活動が市域全体に持続的に広がる仕組みをつくります。
	<p>がん・生活習慣病対策や認知症予防の推進により健康寿命を延ばすことで、医療・介護費用の増加を抑制し、若い世代が将来にわたって安心できる持続可能な医療・介護保険制度を実現します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性腎臓病リスク等につながる生活習慣病の改善指導を強化することで重症化を抑制します。 ・胃がんリスク検診等の各種検診による早期発見・早期治療で疾病予防を図ります。 ・認知症の予防や早期対応の体制を強化することで、高齢者の自立生活の期間(健康寿命)を延ばすとともに、介護負担の軽減を図ります。
	<p>高齢者の知恵や経験を活かした積極的な社会参加を促すことで、高齢者自身の健康・生きがいづくりとともに、若者世代を応援する担い手づくりを進め、将来にわたって安心感を持てる支え合いの社会環境をつくります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が気軽に交流できる場として地域住民主体の「はつらつ広場」を各地域に立ち上げ、元気な高齢者の活躍の場とするとともに、虚弱な高齢者の支援を充実します。 ・約300団体ある介護予防サークルが自主的な予防活動や地域活動を継続できるよう支援します。 ・新社会福祉センター内に多様なボランティア情報が集まり、多世代が交流できるボランティアセンターを開設し、高齢者の活躍の場を拡げ、若者世代を応援する環境づくりを進めます。 ・社会福祉協議会やシルバー人材センターによる高齢者支援や子育て世代へのサービス提供を拡充します。
	<p>人口減少に伴う地域の実情を踏まえ、生活環境や公共サービスの維持、老朽インフラや空き家などの対策を進め、地域の暮らしを守ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンクをつかって、市内の空き家情報の発信を展開します。 ・若手社会人や子育て奮闘中の若者を対象に、安価な賃貸住宅を提供することで、生活環境を支援します。【再掲】 ・消雪パイプ発祥の地として、豊富な知識や技術を活用し、雪を苦にせず楽しく暮らせるまちづくりを進めます。 ・市民の財産である既存インフラ(道路、下水道等)の長寿命化を進め、賢く施設を利用します。 ・地域NPO法人が、中山間地域での公共交通を確保し、併せて買い物支援と高齢者の見守りを実施します。
	<p>災害に強いインフラ整備と人口減少に伴う地域の実情を踏まえたソフト対策などにより、地域防災力をさらに強化します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・豪雨への不安を和らげ、浸水被害の解消を目指し、雨水対策を進めます。 ・防災に関するイベントの開催や防災教育コンテンツを作成することで、地域の実情を踏まえた地域住民・事業者の防災意識の向上に努め、地域防災力をさらに高めます。 ・自主防災会に助成金を交付するなど積極的に支援します。 ・消防施設の更新整備や消防団の人材確保などを行い、地域防災力をさらに強化します。 ・里山等を地域活動の拠点として活用し、市民に森林資源の持つ様々な機能や緑化活動等の学習・体験の場を提供し、環境保全活動に対する意識啓発とともにこれに取り組む市民を増やします。
<p>人口減少に伴う地域の実情を踏まえた身近なコミュニティ(町内会、各地域)の形成や場づくり、それぞれの連携・交流の推進により、地域の活性化を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の力を集落地域活動に活用する地域おこし協力隊を導入します。【再掲】 ・子どもから高齢者まで、誰もが安心して利用できるよう、コミュニティ活動の拠点であるコミュニティセンターの設備改修を進めます。 ・自分のまちに誇りが持てるような住民主体の個性豊かな地域づくりをサポートします。 ・中山間地域の小さなコミュニティ同士(集落)が繋がりをもち、農業生産活動や地域資源の保全等を通じて集落機能を維持し、住民が生きがいを持って暮らせるよう、住民主体の集落連携組織の立ち上げやリーダー養成を支援します。 	

戦略	基本施策	施策(案)
<p>【戦略7】 近隣・関係市町村や大都市圏、さらには、姉妹都市などの国際的な交流も視野に入れ、広域連携を進めて、交流人口を増やします。</p>	<p>近隣市町村と連携して中越圏域全体の人口減少に歯止めをかけます。</p>	<p>・ながおか・若者・しごと機構を通じて、産官学金が連携して働きたい・住みたいと思うような情報(就職、子育て環境、教育環境、住環境)の発信を展開します。【再掲】</p> <p>・ながおか・若者・しごと機構を通じて、大学・専門学校、行政などが連携して、長岡で学生時代を過ごしたいと思うような情報の発信を展開します。【再掲】</p> <p>・ながおか・若者・しごと機構をつくり、地元企業と学生をつなぐインターンシップ事業を強化します。【再掲】</p> <p>・近隣市町村と様々な資源を結集し、交流人口の増加を図るなど、中越地域全体の発展を目指します。</p>
	<p>関係市町村と連携して、共通資源の魅力を高めることで、交流人口を増やします。【再掲】</p>	<p>・火焰型土器を共通資源として持つ関係市町村と連携を進め、日本遺産として認定を受けたり、海外博物館等への貸出展示を行ったりすることで、国内外に広くアピールし交流を促進します。【再掲】</p> <p>・牛の角突き、北前船、トキ、良寛など、地域固有の特徴的な資源を持つ関係市町村と連携し、国内外に広くアピールし交流を促進します。【再掲】</p> <p>・上越・北陸両新幹線を有機的に結ぶ着地型旅行商品などを、沿線自治体と連携して企画・支援することで交流人口を増やします。</p>
	<p>国内の姉妹都市・友好都市のみならず、海外の都市とも歴史や文化を超えた交流を幅広く推進し、交流人口を増やします。</p>	<p>・ホノルル市など海外の姉妹都市との青少年交流を拡充するとともに、市民レベルでの文化・スポーツ交流を積極的に支援し、さらなる相互交流を促進します。また、長岡まつりや雪しかまつりなどに併せ地域資源を生かした交流ツアーなど、姉妹都市からの誘客を図ります。</p> <p>・各地域の友好都市である、武蔵野市、狛江市、伊勢崎市、白鷹町との連携をさらに深め、交流人口の増加を図ります。</p>